

## 2025年度 シラバス&レズンプラン

<b>科目</b> 日本の歴史 I	<b>講師</b> 佐藤正信	<b>提出</b> 25年 2月 17日
<b>学科</b> 国際観光ビジネス訪日科	<b>学年</b> 1年	<b>授業の方法</b> 講義
	<b>前期</b> <input type="radio"/>	<b>講義時限数</b> 15
	<b>後期</b> <input type="checkbox"/>	<b>単位数</b> 2

<講義目的> この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

歴史と観光資源はつながりも多いため、理解が深められます。さらに世界の歴史と関連付けて学ぶことで、グローバルな視野を持つことができます。教科書はN1レベルの語彙も多いですが、歴史を学びながら読解力が身に付けられます。また歴史を学ぶことは、日本人とのコミュニケーションツールとしてより充実した留学生活や、就職後の会話力につながります。

<講義概要>

古代、中世、近世、近代、現在、各時代毎の重要な出来事や発展した文化や芸術、代表的な人物などを体系的に学びます。また歴史上関りのある観光資源についても理解が深まるよう時代毎に取り上げていきます。

<授業の進め方>

講義    グループワーク    実技・演習    フィールドワーク    実習  
 その他( )

<授業計画全体における講義・演習・実習の割合>

講義 80 % 演習 20 % 実習 %

<到達目標レベル(何を、どのレベルに)>

- ①STORY・・・なぜ時代が始まり終わりを迎えたのかSTORYがわかるレベル
- ②時代の出来事・・・代表的な出来事、アジアとの関係が理解できるレベル
- ③歴史上の人物・・・主要な人物の背景や政策が理解できるレベル
- ④観光資源との関係・・・本教材で触れた観光資源(世界遺産など)が理解できるレベル

<レズンプラン(時限ごとの項目スケジュール概要)>

回	授業計画	テキスト・使用資料その他	学生PC利用
1	日本史アンケート記入 第1回旧石器時代・新石器時代 人類の登場から文明の発生へ	P2～5、P14、15	<input type="checkbox"/>
2	第2回4大文明・3大宗教 各文明・宗教はどのように成立し発展したのか	P16～19、P22、23	<input type="checkbox"/>
3	第3回縄文・弥生時代と卑弥呼 東アジアの中の倭 生活様式の特徴 ムラからクニへ	P24～29	<input type="checkbox"/>
4	第4回古墳時代 250年 ～ 590年 古墳の出現 鉄とヤマト王権	P30～33	<input type="checkbox"/>
5	第5回飛鳥時代 592年 ～ 710年 仏教伝来 律令国家の成り立ち	P36～39	<input type="checkbox"/>
6	第6回奈良時代 710年 ～ 794年 平城京を中心とした律令政治と天平文化	P40～47	<input type="checkbox"/>
7	第7回平安時代 794年 ～ 1185年 前半 平安京を中心とした摂関政治と国風文化	P48～55	<input type="checkbox"/>
8	第8回平安時代 794年 ～ 1185年 後半 なぜ武士は生まれたのか 源平合戦	P56～63	<input type="checkbox"/>
9	第9回鎌倉時代 1185年 ～ 1333年 前半 武家政権のしくみ 鎌倉文化	P64～69	<input type="checkbox"/>
10	第10回鎌倉時代 1185年 ～ 1333年 後半 蒙古襲来(元寇)と幕府の関係	P70～79	<input type="checkbox"/>
11	第11回室町時代と南北朝時代 1336年 ～ 1573年 新しい幕府の成り立ちと守護大名 産業や交通の発展と人々の暮らし	P75～77、P82～85	<input type="checkbox"/>
12	第12回戦国時代と室町時代 1336年 ～ 1573年 守護大名から戦国大名へ北山文化と東山文化	P86～93	<input type="checkbox"/>
13	第13回大航海時代と南蛮貿易(室町、戦国時代)1336年 ～ 1573年 大航海時代の始まりと南蛮貿易による日本社会への影響	P94～101	<input type="checkbox"/>
14	第14回 室町時代(戦国時代)の終わりと全国統一 1336年 ～ 1597年 三英傑と時代の関り 桃山文化と南蛮文化	P102～111	<input type="checkbox"/>
15	前期 期末試験対策	前期教科書の振り返り	<input type="checkbox"/>

<授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)>

教科書の該当ページを事前に読んでおいてください。また「ふりかえりテスト」毎回実施します。前回授業のチェックポイントはおさらいしておいてください。

<成績評価方法・基準>

**試験と評価方法**    試験期間中   **評価方法**    筆記試験( 90%)    小テスト( % )    レポート( % )    その他( % )  
 講義時限内    実技試験( % )    受講態度( 10%)    作品( % )   ↓ ( )

<教員紹介>

担当教員は旅行会社勤務経験があり、世界遺産や観光資源など世界史視点を交えながら体系的に指導する